

特集 地域人財発掘！ 今、学校でどういう人財が必要とされているのか？

おおさわ学園の先生方とCS委員との懇談会を開催 (2017.8.31)

「今、子ども達のために地域が支援できること」について熟議 (2017.10.26)

質問：CS、CS委員会ってどういうイメージですか？

- 先生
- よくわからないのですが、なんだか大変そうですね。
 - 行事などで協力してもらっているのはわかります。
 - 漢検とかボランティアでお世話になっていますね。
 - 部活サポートをしてもらっていますね。
 - 教員が元気になるような、支えであってほしい。
 - もっと何でも言い合えるフランクな関係が欲しい。

CS委員会は学校の上ではなくヨコの関係です。むしろ下から支えたい！
おおさわ学園の子ども達に何が本当に必要かを絞って、CSの内容も整理していく時期に差し掛かっています。

質問：サポート（隊）についてのイメージと活用状況は？

- 先生
- 保護者にどのくらい頼めるのかわかりません。
 - 地域の方が算数サポートに入ると、子どもにも人気があり、助けられています。
 - 効果的な学年や授業をしぼってサポートを入れられるようになってきました。



サポートのニーズを把握することで、たとえば翌年新しい先生に変わられたとき、昨年度はここでサポートを入れていましたよ、などお知らせできますし、お忙しくて募集し忘れた！ということも防げるかと思えます。
サポート隊の事務局との窓口の先生以外の先生方にも見える活動にしていきたいです。

質問：地域や保護者と、学校とのつながりについて

- 先生
- 地域に楽しい経験、行事がたくさんあるのは子ども達のためにとってもよいこと。反面、仕事が増えることもあります。
 - 教員の見られない時間帯も子どもたちを見守ってくださっている。
 - 子ども自身に“自信を持ってほしいと思う”“自分の役割をみつけてほしい”
学校教育や地域行事の中でそういった点をそだてられるようにする。



何が子どものためになるかを考え、地域と学校が協力しあい効率よく取り組めるといいと思っています。

先生方から要望があった地域人財をコミュニティ・スクールのネットワークを駆使し、学校と共に子ども達の授業などに活用していきます。

小学校では

- 習字： 基礎から有段者の指導まで幅広く
- 算数： そろばんの指導
- 生活科： 野川やホタルの里の生態系に詳しい方
- 社会： 戦争中から70年前くらいまでの大沢の様子に詳しい方
- 理科： 天文台と繋がりたい。天文台の方の出前講座など。
- 音楽： 楽譜が読める方のサポート、祭り囃子の演奏や説明。
日本民謡の歌唱や解説、ピアノ伴奏のできる方
- 家庭科： 裁縫などの実技などのサポート
- 総合： 「働くことを考える」の中で、子どもたちに職業を説明して下さる方



中学校では

- 保健体育： 柔道（基本の指導）、ダンスの指導、応急救護の指導、
医薬品の指導
- 国語： 書道の指導（有段者など）百人一首の実演
- 生活指導： 個人情報の保護や情報モラルの指導
- 職業体験： 体験先の職種の幅を広げたい



〔お知らせ〕

2月3日(土)第七中で地域人財、CS委員、先生方が学習支援について話し合います。
傍聴希望の方は、第七中副校長へ事前にご連絡ください。

- 次回、CS委員会は、12月21日(木)17時からの大沢台小での開催となります。傍聴希望の方は、大沢台小学校副校長へ事前にご連絡ください。